

○土砂災害危険箇所緊急点検研修会○

12月9日、「土砂災害危険箇所緊急点検に関する研修会」が多治見砂防国道事務所にて行われた。この研修会には、中部地方整備局企画部、河川部のほか、木曾川上流河川事務所、愛知国道事務所など、国土交通省出先事務所の6事務所が参加。越美山系砂防事務所からは、5名が出席した。

災害が続く近年、緊急災害対策派遣隊「テックフォース」の派遣が増えている状況を鑑み、国土交通省職員として必要な基礎知識を身につけるため、参加したメンバーは真剣に研修に取り組んでいた。



現場研修前に自習をする越美山系砂防事務所職員



= 第Ⅷ期 「山郷倶楽部」レポート =

山郷(やまぐに)倶楽部は、揖斐(いび)川流域の方を対象に、上流域の山間部で生活されている人々の暮らしなどに直接触れ、山と水との関わりや水源保護及び防災の大切さを理解していただく学習の場。

本年度も坂内(さかうち)砂防堰堤魚道(写真⑤)や、横山(よこやま)ダム(写真⑥; 国土交通省管理ダム)などを見学した。

参加した皆様へのアンケート結果をみると、普段感じにくい揖斐川上流域の保全の大切さを感じる人が多かった。

今後も、皆様に理解をいただけるように努め、事業を進めていきます。



～ 冬を間近に感じつつ、進む工事 ～

めっきり寒くなってきた越美山系。本格的な冬を前にしても、工事は休みなく動いている。

高地(たかち)谷では、工事用道路として活用する橋梁仮設が完了(写真A)。

揖斐川流木対策工事では、東前(ひがしまえ)の谷において、流木対策工を実施するための床掘が進む(写真B)。

日洞(ひぼら)谷では、砂防堰堤のコンクリート打設が進み(写真C)、エノマ谷では、管理用道路が砂防堰堤の副堰堤に到達した(写真D)。

敷原(しきはら)谷では、砂防堰堤本堤上流側の護岸工が進む(写真E)。

本格的な降雪がある前に、工事を進めておきたい作業者は、日々努力を続けている。



「ぎふ清流国体・大会」まであと少し！

2012年9月29日から始まる「ぎふ清流国体・大会」。越美山系砂防事務所の管内である揖斐川町と本巣市では、ソフトボール、カヌー、軟式野球、フットベースボールの協議が行われる予定である。

このため、当事務所においても工事現場等で「ぎふ清流国体・大会」をPRさせていただきます。

